

第 2 編 「新宿区文化芸術の振興に関する懇談会 報告書」(平成 21 年 10 月)で提言された新宿区の文化芸術の振興のための 28 項目を基本とした重点項目の抽出・評価

文化芸術振興の重点項目に関する主な取り組み

第2期文化芸術振興会議における調査審議事項としての重点項目

1 「まちの記憶を継ぐ・活かす」、「まちへの愛着と誇りを育てる」

- ① 文化芸術団体・学校・地域をつなぐ文化面からのコーディネートの実施・強化
⇒・まちへの誇りと愛着を育て、次の世代に豊かな新宿のまちの記憶を継承していくためには、多くの団体が新宿のまちに目を向け、関心を高めてもらうことが必要。
- ・新宿歴史博物館をはじめ、様々な専門性を持つ機関が活動をしている中で、博物館ボランティア等の活用等、文化面からのコーディネートの実施。
 - ・地区協議会の活動、新宿区地域文化財事業等による地域の魅力の掘り起し。

平成25年度の主な取り組み

- ボランティアガイド等によるまち歩きツアーの実施
新宿まち歩きガイド運営協議会によるまち歩きツアーの実施（7回）、新宿ぶらり散歩塾の実施（10回、228名）、歴史文化探訪の実施（6回、285名、ボランティア137名）等
- 地域文化財事業による地域の魅力の掘り起し
地域文化財の新規認定（6件）
- 人材バンクの活用
文化、スポーツ、国際理解、芸術など幅広い分野での地域人材の発掘、登録（登録者数904名）

平成26年度の取り組み

- 平成26年4月に総合的な観光組織である一般社団法人新宿観光振興協会が設立されたことに伴い、今後は、新宿観光振興協会の事業の一環として、まち歩きガイド団体と連携
- 地域文化財事業による地域の魅力の掘り起し
- 人材バンクの充実
- 文化、スポーツ、国際理解、芸術など幅広い分野での地域人材の発掘、登録、養成講座の実施等

2 「子どもの生きる力と豊かな心を育む」

- ① 文化芸術団体・学校・施設・地域をつなぐ文化面からのコーディネートの実施
⇒・学校の取り組みへの期待と難しさがある中で、地域で活動するスクールコーディネーターや学校と文化芸術団体等をつなぐことが必要。
- ・第1期会議では、教育委員会や教育現場と文化芸術団体等との連携や、地域の文化財等の情報の共有化の必要性が議論されており、今後の課題のひとつ。

平成25年度の主な取り組み

- レガス子どもクラブ・子ども未来講座の実施
レガスクラブ（延5,566名）、子ども未来講座（延1,435名）、のびのびクラブ（延1,838名）、新宿ミュージカル講座（延1,230名）
- 美術鑑賞教室の実施
損保ジャパン東郷青児美術館での対話型美術鑑賞教室の実施（小学校29校、中学校7校）
- 新宿歴史博物館と学校との連携
社会科見学・職場体験等の受け入れ（小学校32校（児童1,202名、教諭95名）、中学校5校（生徒714名、教諭1名））等
- ドレミクラブによる学校へのアーティスト派遣
新宿未来創造財団推薦アーティストの学校派遣（小学校7校、鑑賞者1,761名）

平成26年度の取り組み

- レガス子どもクラブ・子ども未来講座の実施
レガスクラブ、子ども未来講座、新宿ミュージカル講座等、子ども向けプログラムの実施
- 美術鑑賞教室の開催
損保ジャパン東郷青児美術館での対話型美術鑑賞教室の開催と事前学習授業の実施
- 新宿歴史博物館と学校との連携
社会科見学・職場体験等の受け入れ、歴史文化に関する学校授業メニューの提案、学芸員出張事業等の実施
- ドレミクラブによる学校へのアーティスト派遣
一部の学校のみの実施に止まっているため、廃止。

- 3 「新宿からの文化芸術を創る・発信する」、「民（みんな）の力でつくられたまちを支える」、「新宿のまちに人を惹きつける」、「新宿力のふたをあける（発揮する）」、「多様な人と人とをつなげる」
- ① 「まちの記憶を継ぐ・活かす」、「子どもの生きる力と豊かな心を育む」、「文化芸術の創造・発信」等の場面での文化芸術団体、施設、地域をつなぐ文化芸術面からのコーディネートの実施、文化芸術ボランティアの育成とネットワーク化
 - ② 大学・専修学校等の力を活かした文化交流・地域連携事業の実施
 - ③ 企業との連携による地域連携事業の実施
 - ④ 韓国文化院、国際交流基金等との連携による文化交流・地域連携事業の実施
⇒・区の文化芸術の振興を進めていくためには、区民、団体、学校、企業など、様々な主体をつなぎ、それぞれの主体の持つ力を引き出していくためには、マネジメント機能やコーディネート機能、また、そのための専門性やノウハウをより強化していくことが必要。

- ・区内には、大学や専修学校が数多くあり、また、企業メセナ協議会に参加している企業をはじめ、社会貢献を実践している企業あるいは関心の高い企業もたくさんある。新宿フィールドミュージアムの取り組みを通じての文化交流・地域連携の在り方を検討することが必要。

平成25年度の主な取り組み

- 文化資源ネットワークの運営・構築
四谷文化資源ネットワーク（参加18団体、連絡会2回）、落合文化資源ネットワーク（参加6団体）、新宿文化資源ネットワーク（参加14団体、平成26年2月初会合にて発足）
- 大学や企業との協力による新宿クリエイターズフェスタの実施
草間彌生特別展、河口洋一郎特別展、こどもアートプログラム、学生アートコンペティションの実施
- 多文化交流事業の実施
多文化交流プログラム（年24回 493名）、日本語スピーチコンテスト（147名）等
- 大使館等との協力による交流事業の実施
国際都市新宿・踊りの祭典の実施（延3,182名）
- 文化芸術活動団体や企業等との協力による新宿フィールドミュージアム事業の実施
来て・見て・楽しい 新宿フィールドミュージアム2013の開催（50団体、58イベント、約60万人（参加団体アンケートによる））

平成26年度の取り組み

- 文化資源ネットワークの運営・構築
四谷文化資源ネットワーク、落合文化資源ネットワークの運営と新宿文化資源ネットワークの構築
- 大学や企業との協力による新宿クリエイターズフェスタの開催
アーティストの特別展の開催、こどもアートプログラム、学生アートコンペティション等の実施
- 多文化交流事業の実施
多文化交流プログラム、日本語スピーチコンテスト等の実施
- 大使館等との協力による交流事業の実施
国際都市新宿・踊りの祭典の開催
- 文化芸術活動団体や企業等との協力による新宿フィールドミュージアム事業の開催
来て・見て・楽しい 新宿フィールドミュージアム2014の開催